

## 緑のセンターだより

No.285 令和4年12月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

タデ科 ソバカズラ属

## イタドリ

*Fallopia japonica* (*Polygonum cuspidatum*)

秋に山道を車で走っていると見かける背の高い、大きな葉の植物。夏以降は白い花も目立ち、目を引く植物です。茎も太く、折ると中が空洞になっています。子どもの頃年配の方々がスカンポ、スイバ、ドングイなどいろんな呼び方をされていて、当時はどれが本物の名前か分かりませんでした。しかし、豊平公園の野草園に斑入りのイタドリがあり、野草の一つとして植えられていたことからようやく和名がイタドリで呼び名がたくさんある、ということを知りました。

イタドリはタデ科の多年草で、日本全国、朝鮮半島、中国に分布しています。ヨーロッパや北アメリカでは帰化し広がっているそうです。春に新芽を出し、晩夏～秋に白い小花をたくさんつけます。冬に地上部が枯れてしまいます。草丈は30～150 cm、大型のものは2mにもなります。北海道を含む北日本にはオオイタドリ (*F. sachalinensis*

(*P. sachalinense*)) も分布しており、イタドリより大型です。どちらも株立ちとなり、茎は直立して中～上方で枝分かれます。葉は互生し、鋸歯のない、大きな葉をつけます。花は茎や枝の葉腋に総状花序をつけ、立ち上がるようにして咲くので、写真のように花の塊が段々に着いているように見えます。意外に可愛い花で、けっこう目立ちます。雌雄異株なので、花の大きさなどに違いはありますが、どちらの花も花弁はなく、5枚の萼片(がくへん)と薬(しべ)で構成されています。秋には雌株に実がつき、冬でも風でゆらゆらしているのを見かけます。



野草園の斑入りイタドリ

イタドリは漢字で書くと「虎杖」「痛取」。「虎杖」はイタドリの虎模様の茎を杖にしていたことから来ているそうです。登別の近くの海岸で「虎杖浜」という地名がありますが、元々のアイヌ語の地名で「クツタルシ」。「イタドリが群生するところ」を意味していたことから、イタドリの漢字表記である「虎杖」の浜、からついたとされています。

「痛取」の方は、昔はケガの痛みを取ってくれる薬草として使っていたからといわれています。ただ、春先に出る新芽を山菜として食べる地域があるようですが、シュウ酸を多く含むたくさん食べるとおなかを壊すそうです。また、茎を切って吸うと強い酸味があることからスイバなどの呼び方をするようになったようです。

豊平公園の野草園の斑入り種は植栽した園芸種ですが、奥の樹木の下にある緑葉の方は実は植栽したものではないため、イタドリなのかオオイタドリなのかははっきりしていません。

# 12月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

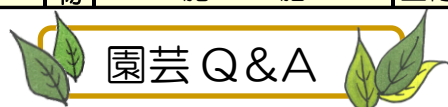
緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）

※12/29～1/3 は年末年始のため休館します。

※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

		作業時期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木・花木・果樹	整枝・剪定			先月に続き、落葉広葉樹の整枝、剪定（カエデ類は水揚げ状況を確認して切る）
		冬 囲 い			冬囲いをしていないものは早めに終わらせる。
				結束点検	中低木は縄の緩みの確認・締め直し。前月作業したものも再点検を行う。
		積雪障害予防			軒下の落雪、道路際の除雪による圧雪被害予防のため囲いを補強・除雪 樹冠や枝に積もった雪は落とす。
室内園芸	鉢花	ネズミ食害予防			林縁や沢地に隣接する場所では積雪前に雑草を除くなどネズミの食害予防を行う。 地上部30～50cmを覆う（ペットボトルを加工してはめ込む・細かい金網を巻くなど）
		温度管理			各植物が好む温度（最低10～15℃）を確保し日当たりの良い場所へ置く。 暖房による直接の温風と乾燥に注意する。
		水 や り			土が乾いて鉢が軽くなってからたっぷり与える。受皿に溜まった水は捨てる。
		施 肥			多くの植物は生育緩慢期のため、控え目か中断する。 シクラメンやプリムラなど、冬に成長・開花するものには薄い液肥を与える。
		病虫害防除			アブラムシ、ハダニ、カイガラムシなどの早期発見に注意する。
	野菜	球根保存管理			ダリア、カンナ、球根ベゴニア、カラーなど、月1回は保存・保湿状態を確認
		キッチンガーデン			葉物野菜をベビーリーフとしてプランター栽培。スプラウトなど水耕栽培
	洋ラン	貯蔵野菜点検			ダイコン、ニンジン、白菜、ネギ、ジャガイモなどの保存状態確認
		温 度 管 理			デンドロ（ノビル）は10℃以下。シンビジウムは着蕾株は20℃以下の涼しいところ。 カトレアは最低12～13℃で低温管理。コチョウランやデンファレは18℃以上を保つ。
		水やり・施肥			デンドロ（ノビル）は水を控え、他は植込みが乾いたら灌水。施肥は全て不要
	多肉植物	短 日 処 理			カランコエは蕾が上がるまで引き続き行う。
		冬型多肉植物の管理			リトープス、コノフィツム、アエオニウム（黒法師）は生育期。土が乾いたらしっかり灌水
		休 眠			クジャクサボテンやアデニウムは休眠期。水や肥料は不要。10℃前後で管理
	観葉植物	温 度 管 理			各植物に合わせて最低10～15℃は確保
		水 や り			暖房による高温乾燥時は水切れに注意し、鉢が軽くなってから灌水。葉水も有効
		施 肥			生育緩慢期なので、施肥は控える。



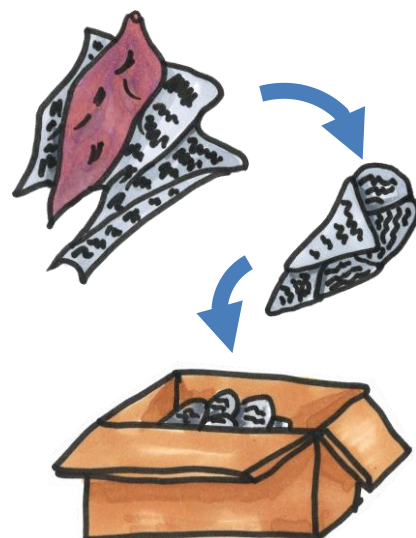
**Q サツマイモを10月上旬に収穫し、焼いもにして食べたのですが、いまいち甘さが足りません。美味しくいただくにはどのようにすればよろしいのでしょうか？ また、収穫後の保存法について教えてください。**

**A** おいしい焼いもは作り方にもよりますが、サツマイモの特性として収穫直後の中身（成分）はほとんどがでんぷんです。その後、それは甘みのある糖類に変化し、保存期間中継続して甘味を増していきます。そのため、焼いもで美味しく食べるには、収穫後1ヵ月半～2ヵ月の期間が必要になります。

保存方法は、収穫したサツマイモを乾燥させて、ついてる土を落とします。その後1週間程陰干しすると余分な水分が抜けるので、より日持ちします。それから、新聞紙に1個ずつ包んで段ボールに入れます。収穫後から保存している間は、サツマイモを洗ってはいけません。

それを13～15℃の場所（一戸建てでは南向きの無暖房の部屋など）に保存すると、翌年の春まで美味しくいただけます。

※スーパー等で販売されているサツマイモは保存の仕方が異なります。



陰干し後、1個ずつ新聞紙に包んで段ボールへ入れ、保存する。

## 展示会情報

### 豊平公園

ハンドメイド・クリスマス展  
12/6（火）～12/18（日）



## 豊平公園のクリスマス



緑のセンター受付窓口では 数量限定で豊平公園で採れた木の実パックやリースベースの販売をしています。あなただけのオリジナルリースを作ませんか。12月6日からはハンドメイド・クリスマス展が始まります。

豊平公園のクリスマスをぜひお楽しみください。



〒062-0905  
豊平区豊平5条13丁目  
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線  
「豊平公園」駅下車  
1番出口徒歩1分

## クリスマスと冬の花



コウテイダリア



クリスマスローズ

百合が原緑のセンターではクリスマスディスプレイ展を開催中です。また、緑のセンター内では北海道の屋外では越冬できない草丈のあるコウテイダリアや、サクラのような花姿で芳香も楽しめるルクリア、クリスマスローズなどをご覧ください。



〒002-8082  
北区百合が原公園210  
TEL 011-772-3511

JR学園都市線  
「百合が原」駅下車  
徒歩7～10分

百合が原公園

## 展示会情報

### 百合が原公園

クリスマスディスプレイ展  
～個性あふれるナチュラルリース～

11/8(火)～12/18（日）



## イベント情報（12月～1月）



百合が原公園

☎ (011) 772-3511  
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
キャンドル作り	1月14日(土)	14:45～16:15	330円	6組 (1組4名 まで)	12/11(日)～

百合が原  
公園

### クリスマスディスプレイ展 ～個性あふれるナチュラルリース～ 11/8（火）～12/18（日）



もうすぐクリスマス♪百合が原緑のセンターでは、植物本来の豊かな色彩が楽しめるリースやスワッグ、可愛らしいオーナメントたちが会場を飾る【クリスマスディスプレイ展】が開催中です。公園ボランティアが制作したリース等もセンターの受付フロアを飾り、クリスマスムード色となっています。会場は巨大リースをメインに、動物たちがクリスマスパーティーを森の中で楽しんでいるような様子を表現。また、Atelier Laurelのフローリスト土井めぐみさんによるスワッグやリース作品が常時30点以上並びます。

豊平公園

### ハンドメイド・クリスマス展 12/6（火）～12/18（日）

豊平公園緑のセンターは【ハンドメイド・クリスマス展】を開催致します。今年は赤白緑のクリスマスカラーで豊平公園のシンボルツリー約5メートルのゴールドクレストやアトリウムを手作りのリボンや灯りで飾りつけします。「豊平公園花とハーブの会」のボランティアさんのご協力のもと園内で採れた木の実やドライフラワーを中心に使用した手作りのリースを展示販売。また、クリスマス気分を盛り上げるポインセチアの鉢を展示、一部販売も致します。ぜひ豊平公園で手作りの温かみあふれるクリスマスをご堪能ください♪

